

## 読売新聞 きょう（5月10日）のイチ押し

### 社会面 女子大生殺害 動機見えず

大阪府大東市のマンションで大学4年の吉岡桃七（ももな）さんが殺害された事件で、府警は真下の部屋の住人で、直後に死亡した会社員の嘉本悟容疑者が関与したとみて、書類送検する方針で捜査しています。ただ、2人に直接の接点は浮かんでおらず、明確な動機は見えていません。

- ★ 事件は4月28日早朝に起きました。吉岡さんの部屋のベランダには、真下からはしごがかけられており、嘉本容疑者はこのはしごを使ってベランダから侵入したとみられています。部屋の玄関外側には、扉が開かないよう共用廊下側からドアストッパーが差し込まれていました。
- ★ 府警が事件解明の鍵とみているのが「音」です。隣室に住んでいた男性は「大きな音もたてていないのに、壁をドンドンたたかれた」と話しているようです。嘉本容疑者は以前住んでいたマンションでも騒音トラブルを起こしているといい、府警は経緯を調べています。

### 1面・2面など コロナ対応「評価」最低23%（本社調査です）

読売新聞社が7～9日に実施した世論調査で、新型コロナウイルスを巡る政府の対応を「評価する」と回答したのは23%にとどまりました。同様の質問をしている昨年2月以降では最低で、4月2～4日の前回調査の35%から12ポイント低下しました。「評価しない」は68%で最も高くなりました。

菅内閣の支持率は43%で、前回の47%から4ポイント低下しました。不支持率は46%（前回40%）で、2月以来3か月ぶりに不支持が支持を上回りました。感染者数が増加するごとに政府のコロナ対応を評価する人は少なくなり、内閣支持率は低下する傾向がうかがえます。

#### 他紙と比べて

無理なく、すぐに始められるトレーニングを紹介する企画「すぐトレ」はストレッチ編2回目です。「背中で握手!」。肩こりや猫背の人に効果がある、肩をほぐすストレッチです。体験した「すぐトレ」編集部員は、ストレッチ前は背中に回した左右の手は全く届きませんでした。大幅に改善したようです。